



河曲地区地域づくり協議会 広報 かわの



回
覧

令和7年6月20日 第21号

地域づくり協議会 令和7年度体制が決まる

令和7年5月23日午後6時半から河曲公民館で令和7年度組織体制等を決める河曲地区地域づくり協議会総会（定員37名）が開かれました。

会議は議長に白塚山隆彦参与を選出、ついで同議長の進行により事項書1～7に沿って下記案件が審議に附され、全案とも承認されました。

1. 令和6年度事業実施報告

河曲駅自転車駐輪場整理事業から「広報かわの」第20号発行まで24事業について

2. 令和6年度決算書

収入5,208,043円、支出4,697,651円

3. 令和7年度役員（案）

4. 令和7年度事業実施計画（案）

5. 令和7年度予算書（案）

収入4,603,229円の配分について

6. 協議会名簿（案）

これにより令和7年度は予算総額4,603,229円をもとに事業計画が逐次、実施に移されて参ります。詳しくは4、5、6、7頁を御覧ください。

なお、事項書7の「その他」で松本衛一防犯委員長より紹介された「詐欺防止し隊」の出前講演応需の話、および固定電話に付ける「自動録音装置」の話には、特種詐欺が横行する昨今だけに出席者34名みんな、真剣に聞き入りました。

役職	氏名（敬称略）	団体
会長	萩 義彦	河曲地区自治会総代会顧問
副会長	田中英敏	神戸交番連絡協議会委員
副会長	松林嘉熙	須賀町自治会顧問
会計	中川 明	河曲地区体育委員会顧問
事務局	松林嘉熙	事務局長
同	湯川伸代	事務局員
監事	木林幹治	河田町自治会長
監事	桐生悦夫	国分町自治会長
委員	原田孝樹	野辺町自治会長
委員	山際 博	竹野町自治会長
委員	兼丸良政	山辺町自治会長
委員	田中 篤	木田町自治会長
委員	矢田久可	大谷町自治会長
委員	遠藤義光	河曲地区自治会総代会会長
同		河曲公民館運営委員会委員長
委員	松林 弘	須賀町自治会長
委員	是枝徳義	十宮宮の前自治会長
委員	柴尾謙一	東十宮町自治会長
委員	板倉 操	西十宮町自治会長
委員	伊藤数馬	南十宮町自治会長
委員	吉永利子	北十宮町自治会長

役職	氏名（敬称略）	団体
委員	吉田眞澄	中十宮町自治会長
委員	藤村聡哉	ラウムズ鈴鹿かわの自治会長
各種団体	大西真人	河曲小学校校長
各種団体	山下祐一	河曲小学校PTA会長
各種団体	市川善浩	神戸中学校校長
各種団体	塚田健司	神戸中学校PTA会長
各種団体	野田栄一	河曲地区民生委員児童委員会会長
各種団体	松永裕道	河曲地区青少年育成町民会議会長
同		河曲地区パトロール隊隊長
各種団体	山口和弘	河曲地区体育委員会会長
各種団体	西村善行	鈴鹿市消防団河曲分団長
各種団体	酒井清春	河曲地区農業委員会会長
各種団体	松本衛一	河曲地区防犯委員会委員長
同		神戸交番連絡協議会委員
同		三重県安全安心まちづくり地域リーダー
参与	武野菊生	
参与	白塚山隆彦	
参与	棚瀬研一	
参与	林 秀樹	
参与	北川 肇	
アドバイザー	内藤 洋	鈴鹿市副市長

河曲地区自治会総代会 令和7年度総会を開催

5月9日15時から地区市民センター和室で令和7年度自治会総代会の総会が開かれました。

遠藤義光会長の挨拶で始まり、前年度会計決算、後援会決算、事業積立金、役員、新年度会計予算、同後援会予算など6項目の案件審議があり、いずれも承認されました。今年度の会長等幹部役員は次の方々（敬称略）です。

会長	遠藤義光	
副会長	兼丸良政	桐生悦夫
会計	藤村聡哉	
監事	板倉操	木林幹治
消防分団	吉永利子	矢田久可
公民館	是枝徳義	田中篤
	吉田眞澄	松林弘
町民会議	原田孝樹	伊藤数馬
体育委員会	山際博	柴尾謙一



顧問には例年通り、萩義彦氏を迎えます。会計規模として、総代会会計120万9100円、総代会後援会会計681万5000円、及び事業積立金等により今年の活動が進められます。

また、見聞・知見の広深化のために極めて有意義な総代会視察事業として今回は、7月5日に名古屋市の名古屋市港防災センター視察研修、およびリニア鉄道館見学が予定されています。

地域づくり協議会への定例支援事業である博物館及び小中学校の草刈については、初回6月7日に支援実施との案内がありました。

自治会の広報誌紹介 その1

国分の「国分町かわら版」

平成3年4月12日、桐生義隆総代を発行責任者として国分町の広報誌「かわら版 KOKUBU」B5版12頁建が創刊されました。発刊の目的は、総代によれば「町で進めている事業、これから進めようとする事業を一つの紙面にまとめて皆様にお読みいただき、理解を深めていただく」こと、即ち「町行政の動きが見れば判る広報紙」の発行でした。



創刊号 H3.4.13

編集は「国分町の将来を考える若者の会」として発足し、明るくポップに「POP-EYE」と名乗り、やがてその実績により絶大な評価を得るに至る8人の集団に託されました。

平成3年の創刊時は「ワープロでタイプアウトを切り貼り編集、印刷発行」という現場でしたが、町はレインボー会館の建設を端緒として、国分の新しい町づくりのグランドデザインの策定と周知を必須とする時期でした。実は当時、国分町は第三次鈴鹿市総合計画にあるレインボーヒル計画の現場であり、町は将来像を自ら描き上げることを期待さ

れていました。そうした状況を前にしてPOP-EYEは「かわら版 KOKUBU」を通じ、住民に意義と将来計画に関する情報提供を続けたのでした。

紙面は平成5年12月号からA5版になり、現在に至っています。発行は年4回の季刊、配付は全戸配布、頁数は8～36頁です。因みに30年後の令和4年11月10日号も16頁建「R4-4号発行・編集Pop-Eye」となっています。

以下、最新刊のR7-1新春号24頁建を見ていくと、表紙写真は国分の伝統行事である粥占い関連の3枚、次いで本文記事として初集会報告、総代ほか役員の紹介及び挨拶、徳寿会・厄年寄付者紹介、PTA・子供会役員紹介、天神さん最近情報、国分寺行事の広報周知、市長との自治会幹部新春面談会、役員会議・消防ポンプ点検、自主防災を考える、市議会議員挨拶、新年度町内行事一覧、そして24頁目が小学校卒業式国分6人の巣立ち、です。

最後、編集後記は「自助、共助の防災意識向上の為の情報提供、町民の親交手段となるべく記事の提供をしていきたい」と結ばれています。



最新刊 R7-1号 7.3.31刊

河曲地区体育委員会 山口会長体制 スタート インディアカ大会

成績 5月11日(日)、神戸中学体育館で体育委員会主催インディアカ大会が開催されました。

午前8時40分、写真の山口和弘会長の開会挨拶で始まり、競技は男子全14チーム予選4リーグ戦、ついで優秀8チームによる決勝トーナメントがあり、最終、野辺Aを制した国分Aチームに栄冠が輝きました。



女子は全13チーム予選4リーグ戦、ついで勝ち抜け8チームによる決勝ラウンドと進み、最後、河田Aを制した須賀チームに優勝杯が渡りました。

広範な組織 会場の雰囲気は、いつも通り、熱気に溢れていました。河曲地区の元気さの源泉は、選手のみなさんや応援に来ていただいた皆さん方の、澁瀬としていて皆と共にある熱気、のおかげであることは間違いありません。

そしてそれを支えて下さっているのが体育委員の方々です。

組織全体の人数をみると、外部委員として体育委員会出身の顧問2名、地域づくり協議会から顧問3名、自治会総代会から顧問16名、監事2名、そして内部委員として各地区理事15名、本部役員17名、競技部長及び副部長9名、競技担当委員124名、合計179名とあって、この大人数ですべてを動かしてくださっています。

審判団の皆様、役員のみなさん、いつもありがとうございます。

年度行事 体育委員会の年度行事は、今回のインディアカ競技が最初で、秋の河曲フェスタまで下記日程で5競技大会が予定されています。

6/15 一般女子ソフトバレー大会 (神中体育館)



6/15 卓球大会 (神中体育館)

7/06 ファミリーバドミントン (河小体育館)

9/21 一般ソフトボール大会 (神中グラウンド)

10/19 河曲スポーツフェスタ (河小グラウンド)

中川 明さん 勇退 会長在任 17ヶ年

体育委員会と共に30年

中川 明

平素は河曲地区体育委員会の活動に対し、御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。私事、このたび30年間に渡り御世話になりました河曲地区体育委員会を退任させていただきました。2007年4月会長就任以来17年間務めさせていただき、沢山の地域の方々と知り合い、対話を重ねてコミュニケーションを深める等、貴重な経験をさせていただきました。

その間、特に印象に残る行事としては、会長就任まもなく、河曲小学校でインフルエンザが蔓延し、学年閉鎖が発生したことにより河曲スポーツフェスタを中止した事、また、雨の中でのスポーツフェスタをやりきった事、更には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、止むなく体育委員会活動を3年間中止した事、が挙げられます。

まだまだ沢山の思い出がありますが、これまでの間、各地区の自治会長、体育委員、そして各大会に出場された皆様がたの御厚意に対し、感謝の気持ちで一杯であります。

これからも、河曲地区体育委員会がスポーツを通じて健全で活気ある地域づくりに貢献し、ますます発展を遂げられていくことを祈念するとともに、私自身も河曲地区の地域づくりに、微力ではございますが尽力してまいりたいと考えています。ありがとうございました。



河曲小学校 大西校長着任

令和7年4月、河曲小学校の校長先生に異動がありました、中野蒼先生が退職され、新たに大西真人先生が着任されました。

「保護者・地域とともに

こどもを育む学校」をめざして

河曲小学校校長 大西真人

4月から河曲小学校に着任しました大西です。日頃から河曲地区地域づくり協議会の皆様には児童の見守りや環境整備等多くの場面で、児童が安全・安心で、過ごしやすい学校生活を送れるように支えていただきありがとうございます。

さて、鈴鹿市では県のいじめ防止強化月間（4・11月）に対応した啓発活動としてピンクシャツ運動を展開しています。4月にピンクジャケットを着て登校指導や各学級を巡回していると、子どもたちが不思議そうな顔で見えます。私のことを地域の方だと思っていたようです。地域を回っていると、ピンクジャケットを着ている方をよく見かけます。河曲地区地域づくり協議会のカラーであるピンク色が、子どもたちに浸透していることが伝わってきました。

河曲地区は、日々の多くの方々の見守りのおかげで、児童だけでなく、中学生や高校生、通勤される方からも挨拶が返ってきて心地良さを感じま

す。学校周辺は交通量が多いですが、自動車が減速に努めてくれたり道を譲ってくれたりして、交通指導がしやすいです。校舎は老朽化していますが、毎年、ティ・エス テック鈴鹿工場の方に校内の施設設備のご尽力をいただき過しやすいです。このような地域の方々の暖かいご支援のおかげで、児童が健やかに育っていく様子を目の当たりにし、地域に暖かく支えられている学校であると自覚しています。

本校へ赴任した際、河曲地区に住む高校時代の友人が訪ねてきて、「河曲は地域がとてもいいからいいよ」と話してくれましたが、地域の方に会う度にそれを実感し、素晴らしい学校・地域に赴任できたことに感謝をしています。

こどもの健全育成は学校だけでなしえるものではありません。学校と家庭、地域が三位一体となって、「保護者・地域とともにこどもを育む学校」をめざします。



令和6年度 河曲地区地域づくり協議会 事業実施報告

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 6.04.01 河曲駅自転車駐輪場整理業務開始 | 6.11.09 公民館運営委員会主催の |
| 6.05.09 役員会開催 | ～10 サークル展示・発表会を共催 |
| 6.05.24 総会 | 6.11.17 区内一斉防災訓練 |
| 6.06.01 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草 | 6.12.20 広報誌「かわの」第19号発行 |
| 6.06.20 広報誌「かわの」第17号発行 | 6.12.26 役員会開催 |
| 6.07.21 三重県消防操法大会 河曲分団出場 | 7.01.09 役員会開催 |
| 6.07.27 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草 | 7.02.28 第3包括圏域 地域ケア圏域会議 役員参加 |
| 小学校運営協議会主催ラジオ体操を共催 | 7.03.08 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草 |
| 6.08.03 同上事業 共催 | 7.03.11 小学校防災給食 |
| 6.08.08 第3包括圏域 地域ケア圏域会議 役員参加 | 7.03.13 小学校屋内運動場完成祝賀会 |
| 6.08.29 役員会開催（防災訓練について） | 7.03.15 伊勢国分寺まつり |
| 6.09.20 広報誌「かわの」第18号発行 | 7.03.26 役員会開催 |
| 6.10.20 体育委員会主催の河曲スポーツフェスタ共催 | 7.03.31 広報誌「かわの」第20号発行 |
| 6.10.26 考古博物館・河曲小・神戸中の周辺除草 | |

神戸中学校 市川校長着任

令和7年4月、神戸中学校校長に、片岡裕明先生を継いで市川善浩先生が着任されました。地域の小・中学校の校長先生が同時異動という河曲の新しい風です。

おながえし

神戸中学校校長 市川善浩

この4月より神戸中学校へ赴任いたしました市川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。日頃より河曲地区地域づくり協議会のみなさまをはじめとする地域の方々には、生徒の登下校の見守りをはじめ、環境整備等では大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。今後もこれまで同様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私自身26年前に初めて神戸中学校に赴任させていただき、7年間お世話になりました。この7年間は私自身教員として様々なことを学ぶことができました。この7年があったからこそ今、教員としての自分があると言っても過言では

ありません。当時ともに働いた先生方、生徒のみなさん、保護者のみなさま、そして地域のみなさま、そして地域のみなさま、この7年間に会った全ての方から多くのことを学ばせていただきました。出会ったすべての方々に今も感謝しています。この御恩をどのように返していけるのかわかりませんが、再び、神戸中学校へ務めさせていただき、生徒、保護者、地域のみなさまに感謝の気持ちを忘れず、がんばっていきたいと思います。そして、目指す学校像である『明日も行きたい（生徒・教職員）、明日も通わせたい（保護者）・明日も協力したい（地域）学校』の実現に向け邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年度 河曲地区地域づくり協議会 事業実施計画

- | | |
|--|------------------------|
| 7.04.01 河曲駅自転車駐輪場整理業務開始 | 8.02.21 公民館運営委員会とともに |
| 7.05.01 役員会 | サークル展示・発表会を開催 |
| 7.05.23 河曲地区地域づくり協議会総会 | 8.03.11 小学校防災給食 |
| 7.06.07 考古博物館除草、河曲小学校駐車場除草、
神戸中学校周辺水路除草 | 8.03.一 歴史公園事業に協力 |
| 7.06.20 広報誌「かわの」第21号発行 | 8.03.20 広報誌「かわの」第24号発行 |
| 7.07.一 考古博物館除草、河曲小学校駐車場除草、
神戸中学校周辺水路除草 | |
| 7.07.26 小学校運営協議会主催ラジオ体操を共催 | |
| 7.08.02 同上事業 共催 | |
| 7.09.20 広報誌「かわの」第22号発行 | |
| 7.10.一 考古博物館除草、河曲小学校駐車場除草、
神戸中学校周辺水路除草 | |
| 7.10.19 体育委員会主催の河曲スポーツフェスタ共催 | |
| 7.11.一 河曲地区内一斉防災訓練 | |
| 7.12.20 広報誌「かわの」第23号発行 | |
| 8.02.一 考古博物館除草、河曲小学校駐車場除草、
神戸中学校周辺水路除草 | |



令和6年度河曲地区地域づくり協議会 決算書

令和6年度河曲地区地域づくり協議会 決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

収入の部

項	目	
前年度繰越金		0
市一括交付金		3,090,000
	基本額	1,990,000
	事務局費	1,100,000
鈴鹿市社会福祉協議会		250,000
ティエステック		200,000
鈴鹿市自治会連合会		140,000
利息・戻入		216
地域づくり協議会		10,166
小計		3,690,382

支出の部

項	目	
地域づくり協議会補助金		3,690,382
運営費		1,950,051
	防災訓練啓発品	226,394
各種団体への後援	学校運営協議会	99,905
	公民館運営協議会	20,000
	体育委員会	50,000
	東日本大震災の日	67,392
	広報誌発行	461,384
	備品購入費	804,276
	予備費	47,300
	印刷代	1,904
	通信運搬費	1,496
	食糧費	0
	歴史公園事業	0
	河曲分団操法大会出場助成金	30,000
地区行事等補助金（野辺・竹野・木田・大谷・国分・須賀）		50,000
高齢者・福祉活動等補助金（ふれあいサロン（木田・十宮・須賀・国分）オレンジカフェ（十宮））		50,000
	役員報酬	40,000
各種団体へ一括交付		810,000
	公民館運営委員会	354,000
	体育委員会	143,000
	青少年育成町民会議	63,000
	民生委員会（小地域福祉活動補助金）	250,000
事務局費		930,331
	事務従事者謝礼	801,000
	インターネット・電話使用料	92,488
	事務用品	36,843
	備品	0
小計		3,690,382

項	目	
前年度繰越金		355,454
考古博物館除草		873,350
委託料 120,000×5回（R5/1回分 R6/4回分）		600,000
	処分料	135,630
	保険料	137,720
河曲駅自転車整理事業		168,271
973×528×1.1+1780×16人（R5後期）		84,135
973×528×1.1+1780×16人（R6前期）		84,136
まちづくり応援補助金		0
雑収入		120,586
	鈴鹿市資源ごみ助成金	2,250
	萩会長（資源ごみ回収）	3,650
	利息	66
	河曲地区自治会総代会	100,000
	資源ごみ処分収入（寄付金）	16,420
小計		1,517,661

項	目	
考古博物館除草		836,729
弁当、機器借用料、消耗品		563,379
	処分料	135,630
	保険料	137,720
河曲駅自転車整理事業		157,174
山辺町老人会 876×528×1.1+1780×16人（R5後期）		78,587
山辺町老人会 876×528×1.1+1780×16人（R6前期）		78,587
富士山一号墳		0
	国分町自治会	0
雑費		0
考古博物館		0
予備費		13,366
	予備費	0
	通信運搬費	3,200
	慶弔費	0
	役員実費弁償費	0
	一括交付金	10,166
小計		1,007,269

合計	収入計	5,208,043
	支出計	4,697,651
	差 引	510,392

次年度へ繰越

上記のとおり相違ありません。

2025年3月31日

令和6年度分の会計について監査を行いました結果、会計の収支は適正であり、

且つ会計報告は適正に表示されていることを認めます。

2025年3月31日

会計 中川 明 (印)

監事 桐生悦夫 (印)

監事 林 裕人 (印)

令和7年度河曲地区地域づくり協議会 予算書

令和7年度河曲地区地域づくり協議会 予算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

収入の部

項	目	
前年度繰越金		0
市一括交付金		3,100,000
	基本額	2,000,000
	事務局費	1,100,000
鈴鹿市社会福祉協議会		0
鈴鹿市自治会連合		0
利息		0
小計		3,100,000

支出の部

項	目	
地域づくり協議会補助金		3,100,000
運営費		1,440,000
	防災訓練啓発品	390,000
	各種団体への後援・学校運営協議会	100,000
	同上・公民館運営協議会	20,000
	同上・体育委員会	50,000
	東日本大震災の日	90,000
	広報誌発行	300,000
	備品購入費	110,000
	予備費	110,000
	印刷代	20,000
	通信運搬費	2,000
	食糧費	8,000
	歴史公園事業	100,000
	地区行事等補助金 (野辺・竹野・木田・国分・須賀)	50,000
	高齢者・福祉活動等補助金 ふれあいサロン(木田・十宮・須賀・国分) オレンジカフェ(十宮)	50,000
	役員報酬	40,000
各種団体へ一括交付		560,000
	公民館運営委員会	354,000
	体育委員会	143,000
	青少年育成町民会議	63,000
	民生委員会(小地域福祉活動補助金)	0
事務局費		1,100,000
	事務従事者謝礼 3,300円×264日	871,200
	インターネット・電話使用料	96,000
	事務用品	132,800
	備品	0
		3,100,000

項	目	本年度予算
前年度繰越金		510,392
考古博物館除草		717,720
	委託料 120,000×4回 R7(4回分)	480,000
	処分料	100,000
	保険料	137,720
河曲駅自転車整理事業		175,117
	1023×52日×1.1×1780×16人(R6後期)	86,996
	1023×52日×1.1×1780×16人(R7前期)	88,121
まちづくり応援補助金		0
雑収入		100,000
	利息	0
	河曲地区自治会総代会	100,000
小計		1,503,229

項	目	本年度予算
考古博物館除草		737,720
	弁当、機器借用料、消耗品	500,000
	処分料	100,000
	保険料	137,720
河曲駅自転車整理事業		163,335
	山辺町老人会 921×52日×1.1×1780×16人(R6後期)	81,161
	山辺町老人会 921×52日×1.1×1780×16人(R7前期)	82,174
富士山一号墳		0
	国分町自治会	0
雑費		0
	考古博物館	0
予備費		602,174
	予備費	592,174
	慶弔費	10,000
	役員実費弁償費	0
小計		1,503,229

合計 4,603,229

* 予算不足のときは、各科目の流用を認める

明治以降 稲の品種改良 コシヒカリ以前の稲田

米価の高騰、米穀店での品不足など、お米に係る話題が絶えません。定番の銘柄米コシヒカリ級では5kg 4285円だそうです。

近世以降の稲種名 ここでは近世以降、コシヒカリに至るまでに河曲周辺で重用されていた稲種を見ていきます。

薄雪 安政元年(1855)秋、奄芸郡林村の林五平発見、原種は一本杉、晩稲で「刈獲ノ季節ニハ四方山嶺ニ白雪ヲ見ル故ニ薄雪ノ名ヲ下セリ」ちなみに明治4年(1871)、須賀村が林崎民政御役所へ提出した村方明細帳に「田作種は福しま薄ゆきまんじ 早稲中稲纔斗(わずかばかり) 晩稲方多く作り申候」とあります。江戸期の北伊勢地方で農家が多用していたのは、福しま、薄ゆき、まんじなど晩稲でした。台風襲来の時期にまだ青い生育途中であれば、倒伏被害は避けられます。

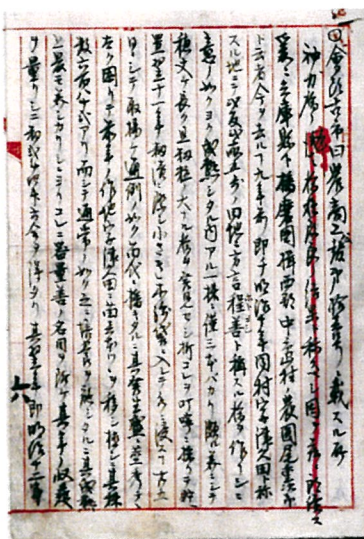
こうした播種、作付状況に戸田小兵衛が見つけた晩稲種が加わります。

須賀一本 嘉永6(1853)年秋、須賀の戸田小兵衛発見、原種は代官倒シ、明治14年の第2回内国博で認知度が沸騰、明治40年現在の作付面積は千葉東京神奈川以西で26200町歩に及ぶ。

小兵衛の業績は普く世人の知る処ですが、突然変異で生じた良苗の発見とその丹精こめた育成の成果でした。これにより明治中頃から近傍の稲田植付けの景色が塗り変わってきます。

神力の紹介 同じ頃、兵庫県でも同様の品種改良が進んでいました。そして生れた「神力しんりき」は、その後全国に広まり、大正昭和前期の稲の代表品種になります。

以下、老農古市与一郎が明治16年の兵庫縣農會開設以来の会員としての知見を踏まえ、明治19年(1886)10月、この優良品種の存在を農業専門誌に発表すると同時に地元の神戸龍光寺で開かれた農談會の席で「神力」を稲種改良の成果と称え、当該



種の全国広範化の端緒となった講演の摘要録の一部を紹介します：

・・爰に兵庫県下播磨國揖西郡中島村の圓尾重次郎と云ふ者 今を去ること九年前 即ち明治十年同村字津久田と称する地にて式反式畝五歩の田地に方言「程善ほどよし」と称する稲を作りしに意の如くよく成熟したる内一株に僅三本ばかり頗る美にして穂丈け長く且粒粒の大なる稲を発見せし折

これを丁寧に採りて貯へ翌十一年秋漬に際して小さき木綿袋に入れて水に浸す事凡五日にして取揚げ通例の如く苗代に播きたるに其発生盛に莖秀て、太く因りて前年の作地字津久田に苗壺本つゝを移し植えに其株数六百八拾式あり 而して通常の如く之に培養を施したるに其成熟上最も美しかりしよりこれを「器量善きりょうよし」の名目を附け其年の収獲を量りしに粳式斗四升六合を得たり其翌年即明治十二年同村字竹ノ内反別壺反式畝歩の田地に作り其餘せる粳を同村の圓尾文右衛門に分ちたり 而して其年の収獲を量るに他の種類に勝る事二割五分を上にいづ 加之米質良く其粒大にして其光沢ありて美麗なり 因て衆人競ひて該稲を作らざるなし 餘りの良稲なるにより此れ偏に神明の農民を助け出つものならんとて婦女子等其名を改め「神力稲」と称せり・・成長の勢力良く丈け長からずして出穂は九月十日頃にて須賀壺本と同時なり・・

その後 神力のあとは「旭あさひ」が続き、戦後では「農林29号」等が出て来ます。更に新潟生まれの福井育ち、倒伏に強くて今も近辺では作付率最高位の「コシヒカリ」は昭和36年に初めて三重県に導入された稲種です。

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第21号 令和7年6月20日 発行
発行責任者 河曲地区地域づくり協議会 事務局長
事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電059-390-1295